

仙台市食育推進計画〔第2期〕推進にあたっての指標

資料 5-2

評価：◎目標達成 ○改善傾向 →変わらない ▼悪化傾向
 (割合についてはベースラインから10%以上の増減)

指標の達成状況

- 把握方法が異なる等のため評価困難

項目	対象	市ベースライン (H21)	市中間値 (H28)	評価	市目標値 (H34)	市中間値出典	国現状値
食育に「関心がある」人の割合		23.9%	21.0%	▼	70%以上	仙台市民の健康意識等に関する調査	37.9%
1日1回は家族や仲間と食事をする人の割合		58.8%	60.9%	—	75%以上	市政モニター調査	
食育サポーター(団体・個人)の登録数		22	10	▼	増加	健康政策課調べ	
朝食を毎日食べる人の割合	4歳児	95.4%	95.0%	→	100%	幼児の家庭における食生活実態調査(H27)	
	小学5年生	89.8%	88.8%	→	100%	仙台市立小・中・中等教育・高等学校児童生徒健康実態調査	
	中学2年生	86.2%	84.1%	→	100%		
	20歳代男性	50.0%	53.4%	→	85%以上	仙台市民の健康意識等に関する調査	56.1%
	20歳代女性	64.9%	55.1%	▼	85%以上		64.9%
	30歳代男性	54.3%	62.0%	○	85%以上		60.6%
	30歳代女性	74.1%	75.1%	→	85%以上		77.0%
適正体重の範囲にある人の割合	児童・生徒の肥満	8.6%	8.3%	→	7%以下	仙台市立学校健診まとめ	
	20歳代女性のやせ	21.9%	16.2%	○	15%以下	仙台市民の健康意識等に関する調査	22.3%
	20～60歳代男性の肥満	29.1%	30.7%	→	15%以下		31.6%
	40～60歳代女性の肥満	16.4%	14.9%	◎	15%以下		20.5%
栄養バランスに気をつけている人の割合		82.8%	95.9%	—	95%以上	市政モニター調査	
外食栄養成分表示実施店の数		237店舗	56店舗	—	増加	健康政策課調べ	
栄養成分表示を参考にしている人の割合(食品購入時)		27.2%	26.9%	→	75%以上	仙台市民の健康意識等に関する調査	
栄養成分表示を参考にしている人の割合(外食時)		22.5%	19.6%	▼	60%以上		
学校給食の地場産物利用品目数の割合		30.1%	29.5%	→	増加	せんだいっ子給食月間	
学童農園・市民農園の数		114農園	117農園	○	120農園	農政企画課調べ	
食品の安全性に関する講習会の受講者数		8,317人	7,512人	▼	増加	生活衛生課調べ	

《参考》第3次食育推進基本計画(農林水産省)の指標(仙台市にないもの)

項目	国現況値 (H27)	市現況値 (H28)	出典	国目標値 (H34)
朝食または夕食を家族と一緒に食べる共食の回数	週9.7回	週9.6回	国:食育に関する意識調査 市:市政モニター調査	週11回
地域等で共食したいと思う人が共食する割合	64.6%	55.3%	国:食育に関する意識調査 市:仙台市民の健康意識等に関する調査	70%
主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を1日2回以上ほぼ毎日食べている国民の割合	57.7%	45.3%		70%
主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を1日2回以上ほぼ毎日食べている若い世代の割合	43.2%	27.1%		55%
生活習慣病の予防や改善のために、ふだんから適正体重の維持や減塩等に気をつけた食生活を実践する国民の割合	69.4%	61.1%		75%
ゆっくりよく噛んで食べる国民の割合	49.2%	50.0%	国:食育に関する意識調査 市:市政モニター調査	55%
食品の安全性について基礎的な知識を持ち、自ら判断する国民の割合	72.0%	60.0%	国:食育に関する意識調査 市:仙台市民の健康意識等に関する調査	80%
食品の安全性について基礎的な知識を持ち、自ら判断する若い世代の割合	56.8%	47.9%		65%
食品ロス削減のために何らかの行動をしている国民の割合	67.4%	92.4% (参考値)	国:消費者意識基本調査 市:市民健康意識調査	80%
地域や家庭で受け継がれてきた伝統的な料理や作法等を継承し、伝えている国民の割合	41.6%	33.7%	国:食育に関する意識調査 市:仙台市民の健康意識等に関する調査	50%
地域や家庭で受け継がれてきた伝統的な料理や作法等を継承し、伝えている若い世代の割合	49.3%	47.7%		60%